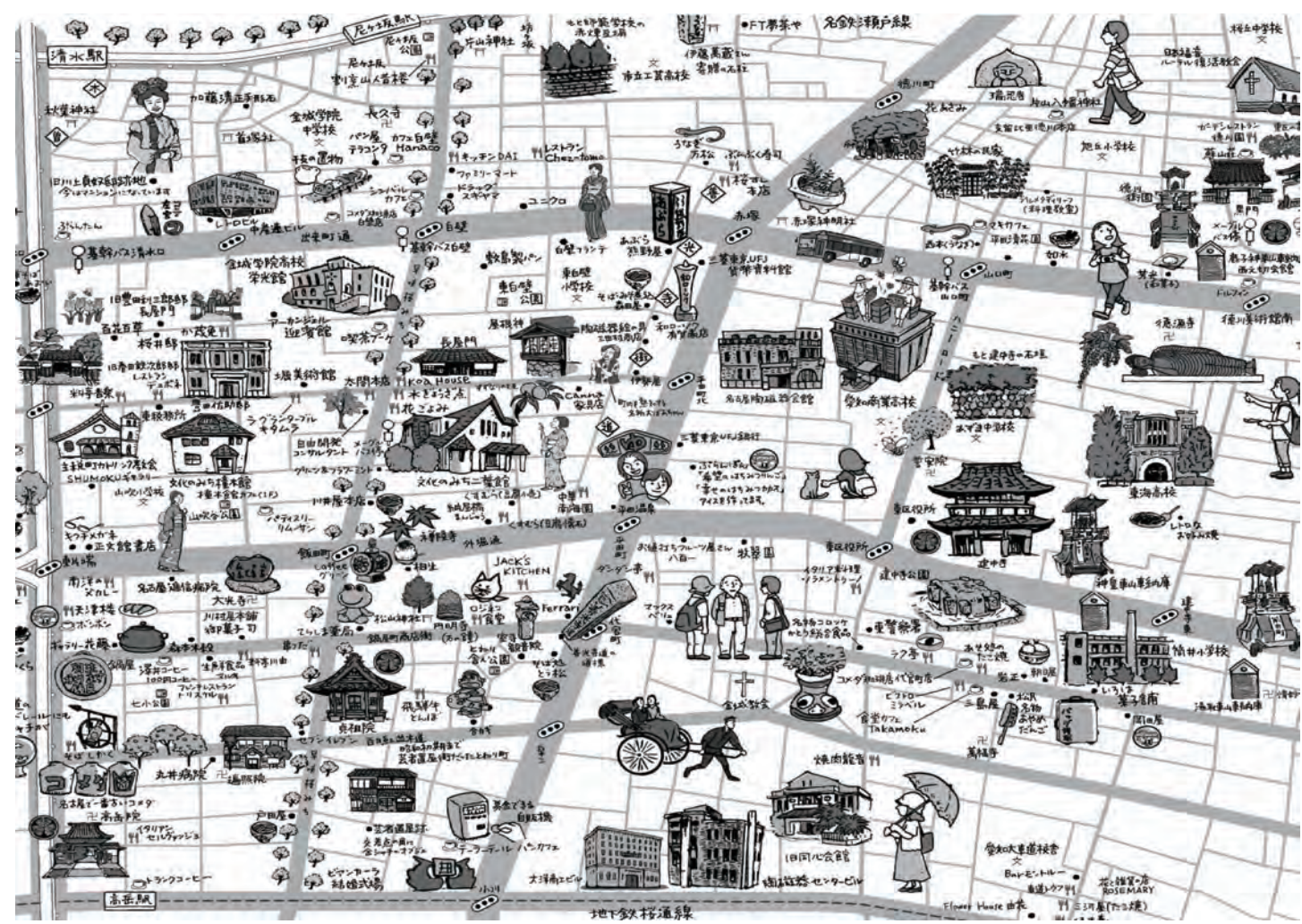


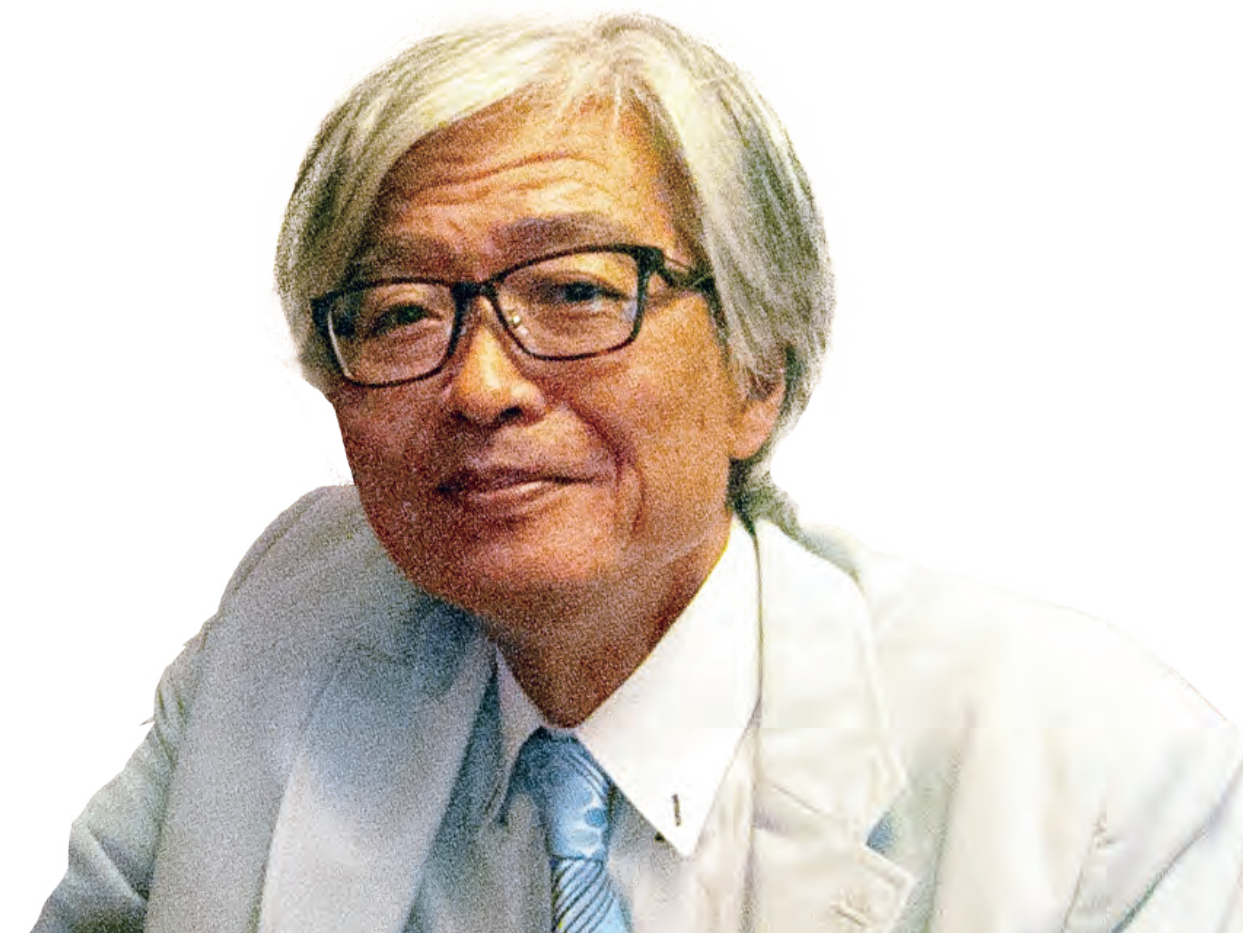
文化のみち 地域から学ぶライフハック



「文化のみち」とは

名古屋城から、その東側の徳川園・建中寺にいたる地域を「文化のみち」と称します。江戸時代は、中級武士の住む屋敷町でした。通常、明治維新によって武士社会が崩壊すると、屋敷町も形を変えていくのですが、当地区はかなりの部分で屋敷町の区割りが残りました。明治に入って殖産興業の流れに乗り、成功した実業家の私邸になったり、禁教が解かれて興隆になったキリスト教の施設や学校に転じたりしました。またそうした場を利用したサロンや交流会も催され、思想家や文人たちを輩出しました。名古屋の一面を占める文化の香り高い地区。それが「文化のみち」なのです。

作家 西尾典祐



習って学ぶ

日本文化の技術や知恵を実際に体験する「着物を着る会」。季節毎の着物をあかこうかとみんなで着付け、伝統的な遊びを楽しんだり「文化のみち」や名古屋にちなむ知識を共有したり、日常生活をより豊かにするアイデアを学びます。



シンギングボウル

仏具を丸い棒でこすり倍音を楽しみます



宗春かるた

三遊亭 圓丈の語りをまね名古屋弁を楽しみます



名古屋言葉辞典

かるたと共に通読し方言を楽しみます



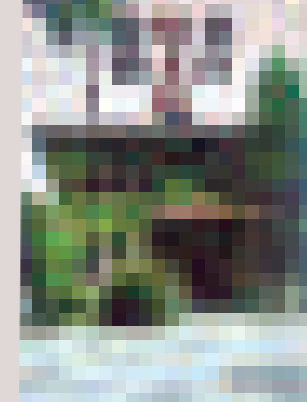
尾張名所図会

名古屋城下の名所旧跡を読み地域の魅力を楽しみます



着物

帯や帯紐を組み替えて着こなしを楽しみます



東区檀木町界限

近代産業人を中心に人々の個性を楽しみます



学びは日常生活に役立つ

コミュニケーション力を高めたり、文化理解を深める助けになります

たとえば「着物を着る会」で学んだ着付けの技術を活かして、地元のお祭りやイベントでのドレスコードに自信を持って参加できるようになります。また、地域の方言や気風を知ること、地元の人々とのコミュニケーションがスムーズになり、親しみやすさが増します。

現代の問題解決や将来の課題に役立つ柔軟な考え方が身につきます

たとえば「文化のみち散歩」で訪れた歴史的なスポットや学んだ歴史から、過去の困難を乗り越えた方法や知恵を現代の問題解決に応用することができます。岩倉の復元 竪穴式住居や伝統的な環境設計技術は、今の都市計画や住まいに役立つインスピレーションを与えてくれます。

自分で情報を探求できるようになります

たとえば「文化のみち」や地域の歴史に興味を持った参加者は、自分自身でさらに深く調査を進めることで、新たな発見や学びを得ることができます。これにより自己学習の習慣が身につく、常に新しい知識を追求する姿勢が育まれます。

東区まちそだての会



「歩こう！文化のみち」

毎年11月「文化のみち」で開催される地域イベント。「観る・聞く」「学ぶ」「遊ぶ・体験する」「買う・味わう」イベントがたくさん開催されます。東区まちそだての会は、初年度から実行委員として参加。2024年は「金シャチ横丁 名古屋人力車」で知られる進風舎さんによる「大正浪漫 人力車乗車体験」愛知商業高校ユネスコクラブさんが屋上で採取した「徳川はちみつ」と地元企業とのコラボ商品を販売する「文化のみちスイーツショップ」を催行。多くの方に楽しんでいただきました。



訪ねて学ぶ

「文化のみち」では古代の貝塚跡から近代の建造物まで様々な史跡や歴史的スポットを楽しめます。関連して地域外での見どころも数多。2024年の「文化のみち散歩」では界隈のほか、古代から岩倉、清州越から清須、壬申の乱から桑名、武田家から稲武、街道から中津川などで知見を深めました。



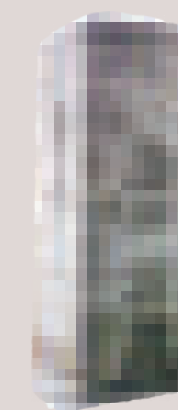
岩倉市史跡公園

復元 竪穴式住居に入り知恵を学びました



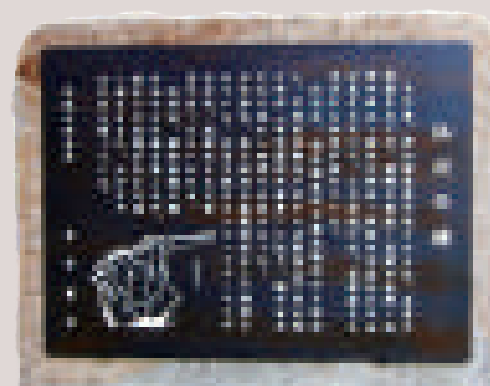
苗木城

雄大な山城に適応力や柔軟性を学びました



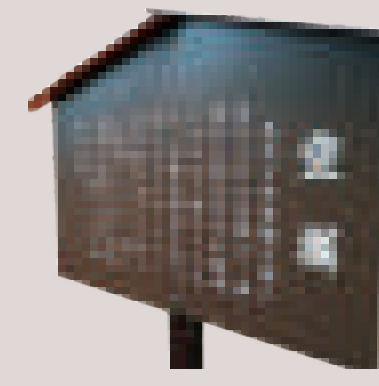
下街道 大曾根道標

念仏講の記に共同体の多様性を学びました



江川の碑

浄心観音堂辺りの変容に計画の大切さを学びました



武節城址 空堀

戦国時代からの地史に民俗の視点を学びました



東別院 平和展

満州侵略史に私心の大切さを学びました

「文化のみち」を通じて得られるライフハックは、日常生活をより豊かにし、個人の成長にもつながります。

ぜひ、私たちと一緒に地域の魅力を探求し、自分の生活に役立てましょう！
新しい発見と学びが待っています。
仲間になって、共に豊かな日常を築いていきましょう。



東区まちそだての会は、名古屋市東区「文化のみち」に親しみ知見を広げる、まちづくり活動をしています。

東区まちそだての会

検索